

八千代市議団ニュース

発行：日本共産党
八千代市議会議員団
☎047-483-1151
市役所議員控室 内線3416

福祉常任委員会
堀口明子
☎047-767-5030



文教経済常任委員会
いはら 忠
☎047-488-7207



総務常任委員会
いいかわ英樹
☎080-1239-8132



6月議会での日本共産党の代表質問

「市民の暮らしを守るため」提案の具体化を要求

5月の市長選挙の結果について、服部市長は3選を果たしたものの得票率は、46%と過半数を割り込み信任を得られなかった。

物価高騰から市民の暮らしを守る施策について、市民が主役の会から推薦を受けた候補者が、お米の引換券、水道基本料金の免除、学校給食の無償化の「3つの緊急提言」を訴え、有権者の支持と共感を得たことは間違いありません。

市は、「今年度、国からの交付金の通知に基づ

き、検討を進めているが、市として独自の支援策が必要とされた場合適切に対応する」と述べるにとどまり、市民の暮らしを守る緊急かつ具体的な提案は全く示されませんでした。日本共産党は、市民の暮らしを守るために「3つの提案」の具体化を求め市へ要求してまいります。



堀口明子議員

「就学援助」負担の早期是正に向けて前進

一定の世帯収入を下回る児童・生徒は就学援助制度が利用できます。中学校に入学する際には制服や体操服などの購入が必要となることから、中学校の入学準備金は63,000円と決められています。

しかし、現在の八千代市11校のうち9校が、

ワイシャツや体操服など1着ずつの購入でもこの金額を上回り、学校によっては3万円近くの差が出ることを指摘しました。市教育長は「早期に各学校の格差是正に取り組みたい」との前向きな答弁がありました。



「服部市政3期目」東葉高速線の運賃値下げ実現は？

日本共産党は6月定例議会において、5月18日に行われた八千代市長選挙で3回目の当選を果たした服部市長に対し「運賃値下げに向けた戦略」について認識を質しました。

市の答弁は、市長が2期目から公約として掲げている通学定期の割引率拡大について「会社が複数パターンによる試算を開始しているところで、結果が秋以降に示されたら通学定期割引率拡大の実現に向けた判断の材料になるものと考えている」と、昨年の議会答弁から何も進展していません。

日本共産党は、これまでに他の自治体で実施

しているような、八千代市独自の通学定期代の補助制度の提案などを行っていますが何も見えてきません。

日本共産党は市長に「市民の代表として、もっと東葉高速鉄道の高すぎる運賃をアピールすることで根本的な問題である利払いの解決へ繋がる」と求めました。八千代市は後から開通したつくばエクスプレスのように無利子化することを国へ強く求めていくべきです。



飯川英樹議員

深刻な「米、農業問題」解決のために

消費者米価の高騰の原因は、米の供給量不足にあると考えるが、市はどう認識しているかを質問しました。市は「農水省のホームページによれば、令和6年度の在庫量が確保されている。そして令和7年度に関しては、判断の根拠が公表されていないので国の動向を注視している。」との答弁でした、農水省の言い分を鵜呑みにしては、コメ高騰に悩んでいる市民の暮らしを守ることはできません。

しかも、食糧自給率はたったの38%です。自民党政治が農地の減反と米の減産を農家に押し付けた結果です。諸外国では食料安全保障の考えのもと、農業への補助金は当たり前です。スイスは92.5%の補助です。ドイツ77.0%。

EU平均で50.44%。日本は僅か30.2%です。このままでは農業が衰退するだけです。

八千代市の農業の現状は極めて深刻です。2020年のデータでは農業従事者数は829人で5年間に123人減少。耕作面積は647haで77ha減少しています。この現状に対して市の政策が不十分だと指摘しました。

今求められる農業政策は、農家への価格保障・所得補償です。消費者が主食であるお米を安心して買える保障ともなるのです。



伊原 忠議員



遅すぎる! 小中学校体育館へのエアコン設置 中学校は2026年夏、小学校は2027年夏までに設置

日本共産党は、近隣市でも進められている避難所にもなる小中学校の体育館へのエアコン設置を求め続けてきました。

八千代市では昨年9月議会で補正予算が組まれ、エアコン設置工事の設計が本年6月に完了しました。さらに6月議会では、工事費の予算が追加され、2026年夏までに中学校体育館にエアコンが設置されます。

また、小学校体育館のエアコン設置は、2027年夏までの設置に向けて予算化されました。市民の長年の運動で市を動かし要望が実現しました。

船橋市と習志野市は今年度中に設置「八千代市は急げ!」

船橋市は昨年夏までに中学校への設置を完了し、小学校は今年度末までの設置完了を目指しています。習志野市は今年度中に全での小中学校(建替中の大久保小を除く)への設置完了を予定しています。

日本共産党は、八千代市が近隣市よりもエアコンの設置に向けた対応が遅いことを指摘し続けてきました。6月議会では、もともと計画がなかった小学校体育館へのエアコン設置に向けて、ようやく動き出したところですが、日本共産党は、少しでも早い設置を求めています。



ハンディファンは不燃ごみ!

「ハンディファンの捨て方がわからない」という市民の声を受け、6月議会で周知徹底を求めました。市は、「充電式ハンディファンは不燃ごみとして収集し、リチウム蓄電池等を使用した製品は、清掃センターで分解・分別を行い、専門業者に回収の依頼などを行っている」と回答しています。なお、モバイルバッテリーのような電池単体の製品は協力的店で回収を行っています。



●参考: 八千代市ホームページ
リチウムイオン電池をごみとして捨てないでください!



<https://www.city.yachiyo.lg.jp/site/gomi-recycle/25697.html>

2025年6月議会 主な請願・発議案に対する議決結果

○:賛成、×:反対、除:除斥、退:退席、欠:欠席
議長は採決に加わらず 敬称略

	議決結果	賛成数 反対数	日本共産党 飯川 伊原 堀口	市民クラブ 嵐 小澤 崎村 澤田 成田 林	自由民主党 伊東 大塚 辰巳 塚本 萩原 石山 末永 高橋 立川 森	公明党 飛知和 山口 大竹 菅野 高山 三田 若松	八千代市市民 寄り添う会
加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の創設を求める請願	否決	賛成9 反対15	○ ○ ○	× × × × × ×	欠 × × × × ×	× × × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ×	
ヒアリングフレイルを踏まえた補聴器購入費助成制度と支援体制の構築を求める決議について	可決	賛成24 反対0	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	欠 ○ ○ ○ ○ ○	議 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
高額療養費制度の自己負担限度額を据え置くよう求める意見書について	否決	賛成8 反対16	○ ○ ○	× × × × × ×	欠 × × × × ×	長 × × × ○ ○ ○ × ○ ○ ×	
暮らしを守るために緊急に消費税を減税するよう求める意見書について	否決	賛成7 反対17	○ ○ ○	× × × × × ×	欠 × × × × ×	× × × × × ○ × ○ ○ ○	



日本共産党八千代市議会

ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

メールアドレス

kyousan@jcp-yachiyo.jp



無料

法律相談会

奇数月 第3木曜日 午後2時～4時

【場所】市役所4階 日本共産党控室
ブラック企業雇用問題・サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・生活保護・地域の要求。何でもどうぞ! ●予約が必要です。議員へ直接ご連絡ください